

カナダ林産業と国際市場

カナダの林産業は、常に輸出に大きく依存してきました。2014年のカナダの林産品輸出総額は310億ドル強に上っています。カナダは世界第2位の林産品輸出国であり、林産業はカナダの貿易収支に209億ドルを貢献し、産業別では第2位でした。

私たちはさらなる成長を目指しています。特に激化する国際競争の只中にあるからこそ、活気溢れる林産業界であるために、既存の市場とも新規市場とも貿易拡大が不可欠です。

近年の目覚ましい実績のひとつが、貿易相手国の多様化です。この10年で対米依存率は80%から約66%に減少しました。一方で、中国への総輸出はこの10年間で369%もの伸びを見せており、カナダの対アジア輸出において林産品はいまやNo.1の座にあります。

再生可能な材料を用いた製品に対するバイオ市場が出現しつつありますが、FPACとそのパートナーは林産業を、このバイオ経済の中心的存在として位置付けています。伐採する立木の一本一本からさらなる価値を引き出せるかどうかは、創意工夫溢れるたゆみない革新と、新製品と新規市場に対する積極的な取組みにかかっています。

製品や市場の多様化という観点から、カナダ林産業はVision2020において、2020年までにその経済規模をさらに200億ドル拡大するという製品面における目標を設定しました。これはベースラインである2010年の570億ドルに対して35%増を意味します。

世界的に景気が回復し、多種多様な斬新な新製品が登場し、カナダが市場拡大の機会を活用すれば、さらに経済活動が活発化することが期待されます。欧州連合や韓国との自由貿易協定も追い風となりましょう。FPACは、他の国家との自由貿易の交渉について、外務貿易開発省をはじめとするカナダ政府との密接な協力を継続しています。環太平洋経済連携協定(TPP)、印加間や日加間の自由貿易協定、そして世界貿易機関(WTO)の環境物品協定交渉などのイニシアチブは、カナダ林産品の国際貿易をさらに促進するものとなるでしょう。

一方では住宅着工数が100万戸近くにまで回復した米国への輸出も盛り返してきています。また近頃のカナダドル安によって市場での競争力も生まれていて、これは今後何年間も継続すると思われる。

林産業界が輸出拡大の努力を続けるうえで、カナダの輸送システムの改善が逼迫した問題になっています。南北だけでなく東西に及ぶ物流需要に対応し、信頼できるグローバルサプライヤとしての定評を堅持していくには、交通インフラを拡充し適正な輸送能力を確立しなければなりません。

経済規模をさらに200億ドル拡大するというVision2020の一大目標を達成するためには、産学官の各機関をはじめ多くのパートナーが共通の認識のもとで連携し、真の意味での林産業界の革新と変革を推進していく必要があります。

FPACと会員企業は カナダ林産業界の 指針として VISION2020を策定

2020年までに3つの
目標達成を目指す

- ・ 新製品と市場開拓により
経済規模を200億ドル拡大
- ・ 環境パフォーマンスを
35%向上
- ・ 6万人を新規雇用し
労働力を刷新



FPAC はカナダ林産業界の声を代弁する業界団体であり、Vision2020の掲げる意欲的な目標の達成を支援し、イノベーションな新製品や市場の多様化、環境面での信頼性と実績の向上、そして技能を有する労働力を伴うことで、業界が変貌していけるよう尽力しています。カナダの有力林産企業を代表していることは、FPACの誇りです。

FPAC会員企業は全社が、歴史的なカナダ寒帯林協定に署名し、カナダにおける認証林の66%の営林に当たっています。FPACは会員企業の施業地に第三者による森林認証取得を義務付けた世界初の業界団体です。